



PORSCHE



ロサンゼルスモーターショー2017におけるポルシェ

プレスキット

目次

複合燃費と排出量	3
スポーツカー4モデルがワールドプレミア、ニューカイエンが米国デビュー ポルシェは引き続きアクセル全開	4
最高出力680PSと純粋な電気駆動による49kmの航続距離を備えた新しいスポーツツーリスモが登場 プラグインハイブリッドを搭載した最もパワフルなスポーツツーリスモ	6
抜群の性能とエクスクルージブな装備 デザインとスポーツ性のために仕立てられたニューポルシェ718 GTS	9
911ファミリーに純粹主義を象徴するニューモデルを追加 シンプルでも高い性能 - ニューポルシェ911カレラ T	11
新型エンジン、新型シャーシ、革新的なコントロールコンセプト、そしてさらなるコネクティビティ ニューポルシェ カイエン	13

複合燃費と排出量

718 Boxster GTS:燃料消費量(複合)9.0-8.2リッター/100 km、(市街地)12.3-10.9リッター/100 km、
(郊外)7.0-6.6リッター/100 km、CO₂排出量: 205-186 g/km

718 Cayman GTS:燃料消費量(複合)9.0-8.2リッター/100 km、(市街地)12.3-10.9リッター/100 km、
(郊外)7.0-6.6リッター/100 km、CO₂排出量205-186 g/km

911 Carrera T:燃料消費量(複合)9.5-8.5リッター/100 km、(市街地)13.5-11.5リッター/100 km、
(郊外)7.1-6.8リッター/100 km、CO₂排出量215-193 g/km¹

Cayenne:* 燃料消費量(複合)9.2-9.0リッター/100 km、(市街地)11.3-11.1リッター/100 km、
(郊外)8.0-7.9リッター/100 km、CO₂排出量209-205 g/km

Cayenne S:* 燃料消費量(複合)9.4-9.2リッター/100 km、(市街地)11.8-11.3リッター/100 km、
(郊外)8.4-8.0リッター/100 km、CO₂排出量213-209 g/km

Cayenne Turbo:* 燃料消費量(複合)11.9-11.7リッター/100 km、(市街地)16.4-16.2リッター/100 km、
(郊外)9.5-9.3リッター/100 km、CO₂排出量272-267 g/km

Panamera Turbo S E-Hybrid Sport Turismo:燃料消費量(複合)3.0リッター/100 km、
エネルギー消費量(複合)17.6 kWh/100 km、CO₂ 排出量(複合)69 g/km

* 航続距離は使用されるタイヤによって変わります

スポーツカー4モデルがワールドプレミア、ニューカイエンが米国デビュー

ポルシェは引き続きアクセル全開

ポルシェは、ロサンゼルスモーターショーで衝撃的な4モデルのワールドプレミアを計画しています。公開されるのは、それぞれのモデルラインのフラッグシップであるパナメーラ ターボ S E-ハイブリッド スポーツツーリスモ、718ボクスターGTSおよび718ケイマンGTS、およびピュアな軽量モデルの911カレラ Tです。さらに、新世代のカイエンが米国で初公開されます。ロサンゼルスモーターショーは、2017年12月1日から10日まで開催されます。

プラグインハイブリッドが担うトップモデル：パナメーラ ターボ S E-ハイブリッド スポーツツーリスモ

ニューパナメーラ ターボ S E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、ポルシェのラインナップの中で、最も多用途のスポーツカーです。最高システム出力500kW (680PS)を発生するプラグインハイブリッドは、スポーツツーリスモで最もパワフルです。さらに、3.0リッター／100 kmの燃費 (NEDC) で、最も経済的なモデルでもあります。このモデルは最高速度310 km/hに達し、電力のみによる航続距離はほぼ50 kmです。この新たなトップモデルは、トップクラスのスポーツカーのドライビングダイナミクスと、日常で使用する上での改善された実用性を実現するための革新的な空間コンセプトを組み合わせています。

強化されたパワーとドライビングダイナミクス：ポルシェ718 GTSモデル

2シーターのミッドシップエンジンスポーツカーのポールポジションを獲得するのは718ケイマンGTSと718ボクスターGTSです。新たなトップモデルに搭載される2.5リッターターボエンジンの最高出力は269 kW (365 PS)へ増加しています。車高をダウンするポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM)、スポーツクロノパッケージおよびポルシェ・トルク・ベクトリング (PTV) などの標準装備が、この強化されたパワーをさらにスポーティなドライビングダイナミクスに変換します。PDKトランスミッションを搭載した2シーターのGTSの0-100 km/h加速は4.1秒、最高速度は290 km/hに達します。これらの新型スポーツカーは、ブラックのコンポーネントが多用されているため、すぐにGTSモデルとして見分けることができます。

ピュアなドライビングプレジャーのためのライトウェイトモデル： 911カレラ T

純粹主義のスポーツカーを志向する911ファンのために、ポルシェはニュー911カレラ Tを設計しました。クラシックな先代の1968年モデルとまったく同じように、軽量化と独自のスポーツチューニングが組み合わされています。このスポーティな仕様には、クロスレシオのマニュアルトランスミッション、車高を低くしたアクティブPASMスポーツシャーシおよび多数の専用オプションが含まれます。最高出力272kW (370PS)の6気筒エンジンを搭載した911カレラTのパワーウエイトレシオは、わずか3.85kg/PSで、特に俊敏なドライビングダイナミクスを約束します。

よりスポーツカーらしく、より快適で、より多くの可能性： カイエンの米国デビュー

ニューカイエンが米国で発売されます。新世代のカイエンは現在、6気筒ターボエンジンを搭載したカイエン(250kW (340PS))とカイエンS(324kW (440PS))、およびV8ツインターボエンジン(404kW (550PS))を搭載したカイエン ターボの3つのモデルがラインナップされています。さらにパワフルなエンジン、新型8速ティプトロニックSトランスミッション、新型シャーシシステム、および総合的なコネクティビティを実現した革新的なディスプレイ/コントロールコンセプトが、スポーツ性および快適性を次のレベルに高めます。視覚的にも強化されたこのニューモデルは、カイエンとして初めてミックスタイヤとリアアクスルステアリングを装備しています。さらに、標準装備のアクティブ4WD、ポルシェ 4Dシャーシコントロール、3チャンバーエアサスペンションおよびエレクトロニック・ロール・スタビライゼーション・システムによってオンロード性能が大幅に改善されています。

サクセスストーリーの継続：米国市場のポルシェ

ポルシェは、引き続き2017年の米国における成功への道を歩んでいます。45,952台が納車され、前年の第3四半期と比べて2.7%増となっています。特にマカン(16.3%増)とニューパナメーラ(52.5%増)の成長が顕著です。販売台数の数字は、ポルシェがどれほど米国のお客様に受け入れられているかを反映しています。米国のマーケティング調査会社であるJ.D.パワーが実施した「自動車商品魅力度調査」(APEAL)において、13回連続でポルシェが総合1位を獲得し、米国のドライバーにとって最も魅力的な自動車ブランドとしてポルシェが選ばれました。ポルシェ911、カイエンおよびマカンがそれぞれのカテゴリーで1位を獲得しました。

最高出力680PSと純粋な電気駆動による49kmの航続距離を備えた新しいスポーツツーリスモが登場

プラグインハイブリッドを搭載した最もパワフルなスポーツツーリスモ

ポルシェはパワフルなプラグインハイブリッドモデルをパナメーラ スポーツツーリスモに追加します。新たなフラッグシップモデルとなるニューパナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは4リッターV8エンジンと電気モーターを兼ね備え、システム最高出力500kW/680PSを発生します。850N・mの最大トルクはアイドリング時の回転数を少し超えた時点から発生します。0-100km/h加速タイムは3.4秒をマークし、最高速度は310km/hに達します。しかも平均燃料消費量(新欧州ドライビングサイクル、NEDC)は3.0リッター/100kmです。この最もパワフルなスポーツツーリスモは、電気モーターのみの走行(ゼロ・ローカルエミッション)で最大49kmの航続距離を誇ります。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモをこのセグメントの中で際立たせているのは、性能と効率性のバランスだけではありません。大型のテールゲート、低いローディングエッジ、拡張したラゲッジコンパートメント容量、そして4+1シート構成を含む空間コンセプトによって、この新しいフラッグシップモデルの実用性が高い水準にあることを示します。ポルシェは、ユニークなデザインや優れた実用性を、最高の性能および効率性と結び付けます。

3.4秒の0-100km/h加速タイム

ポルシェは、パナメーラ スポーツサルーンのフラッグシップモデルと同様に、スポーツツーリスモによってハイブリッドテクノロジーの高いポテンシャルを証明します。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモに使用されているブーストプログラムは、ポルシェのスーパースポーツカーであるポルシェ918から受け継いだものです。V8ツインターボ(404kW/550PS)と電気モーター(100kW/136PS)は、1,400rpmから850N・mのシステム最大トルクを発生します。ハイブリッドモジュールに統合されたデカプラーは、電気クラッチアクチュエーターを介して電気機械的に作動します。その結果、短いレスポンスタイムと高い快適性を実現しています。高速でシフトする8速ポルシェドッペルクップリング(PDK)は、標準装備されるアダプティブ4WDシステムのポルシェトラクション マネジメントシステム(PTM)にパワーを伝えます。E-パフォーマンスドライブによって0-100km/h加速タイムは3.4秒をマークし、さらに静止状態から200 km/hまでをわずか8.5秒で加速、最高速度は310km/hに達します。この高い水準にもかかわらず、プラグインハイブリッドモデルは非常に効率的で、新欧

州ドライビングサイクルによる燃料消費量は3.0リッター/100km、電力消費量は17.6kWh/100kmです。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、エレクトリックシステムのみでの走行で最大49kmの航続距離を実現し、最高速度は140km/hに達します。容量14.1kWhのリチウムイオンバッテリーは、チャージャーと電源に応じて2.4–6時間で充電できます。

ユニークなデザイン、アダプティブ ルーフスポイラー、および4+1シートコンセプト

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは、第2世代パナメーラの全てのイノベーションを提供します。ここには、デジタル化されたポルシェ アドバンスドコックピット、あるいはアダプティブクルーズコントロールを含むオプションのリアアクスルステアリングなどの革新的なアシスタンスシステムが含まれます。さらに、このセグメントでは珍しい、走行条件と選択した車両設定に応じて3つの角度に切り替わるルーフスポイラーもこうしたイノベーションに加わります。このルーフスポイラーはリアアクスルに最大50kgのダウンフォースを加えます。走行速度が170km/h以下のときは、ポルシェアクティブ エアロダイナミクス(PAA)の中心コンポーネントであるダイナミックガイドエレメントが-7度の格納ポジションに維持され、ルーフラインに沿って後方に傾斜します。速度が170km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的に+1度のパフォーマンスポジションにセットされ、走行安定性と横方向のダイナミクスを高めます。スポーツ/スポーツプラスモードを選択して90km/hを超えるとルーフスポイラーは自動的にパフォーマンスポジションに移動します。90km/h以上のときにパノラミックスライディングルーフを開くと、PAAのアクティブなアシスタンスによってルーフスポイラーが+26度の角度に調節され、乱気流を低減します。

コンセプトについても、このトップエンドモデルは、斬新なデザインから生じるあらゆるメリットをニュースポーツツーリスモモデルへ提供します。スポーツサルーンに比べて高くなったルーフラインによって後席の乗降が容易になり、ヘッドルームも増大しています。標準装備で電動となるワイドな開口部のテールゲートと、わずか628mmのローディングエッジがラゲッジコパートメントの使いやすさに寄与します。また、パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモは3席のリアシートを装備します。最高の乗員快適性を備えたスポーツ性能というモデルラインの要求に合わせて、リアシートには両サイドが分かれた2+1シート構成が採用されています。さらにオプションで独立した2席の電動リアシートをオーダーすることもできます。パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの収納スペースは、リア

シートの上端まで積み込むと425リッターにもなります。3つのリアシートのバックレストを全てまたは個別(40:20:40分割)にラゲッジコンパートメントから電動でロック解除して格納することもできます。このとき収納スペースは1,295リッターまで拡張されます。

セラミックブレーキを含む広範な標準装備

パナメーラ ターボS E-ハイブリッド スポーツツーリスモの広範な標準装備には、例えば、ポルシェトルクベクトリング プラス(PTV Plus)リアディファレンシャルロックを含むロール安定化システムのポルシェダイナミックシャシー コントロールシステム・スポーツ(PDCCスポーツ)、高性能ブレーキシステムのポルシェ セラミックコンポジットブレーキ(PCCB)、911ターボデザイン21インチ軽合金製ホイール、パワーステアリング プラス、スポーツクロノパッケージ、および補助エアコンが含まれます。最高出力324kW(440PS)以上を発生するパナメーラ 4Sスポーツツーリスモより上位のモデルと同様に、新しいトップエンドモデルもポルシェ アクティブ サスペンション マネジメントシステム(PASM)を組み込んだアダプティブ3チャンバーエアサスペンションを装備し、高水準のドライビングダイナミクスと走行快適性の間の領域を広げます。

抜群の性能とエクスクルージブな装備

デザインとスポーツ性のために仕立てられたニューポルシェ718 GTS

ポルシェは、718ボクスターGTSと718ケイマンGTSによって、ミッドシップエンジンのモデルシリーズを拡張します。新開発されたインテークダクトと2.5リッター4気筒水平対向エンジンのために最適化されたターボチャージャーによって、両モデルの最高出力は269kw(365PS)に向上しています。これは、718Sを11kW(15PS)、自然吸気エンジンを搭載した先代GTSを26kW(35PS)上回ります。ニュー718ボクスターGTS/718ケイマンGTSには、6速トランスミッションとオプションでポルシェ ドッペルクップリング(PDK)が用意されており、スポーツクロノパッケージ、機械式リアディファレンシャルロックを備えたポルシェトルクベクトリング プラス(PTV Plus)、および車高を10mm低く設定するポルシェ・アクティブサスペンション・マネジメントシステム(PASM)など、多数のオプションが標準装備されます。

性能を高めるさらに大きなパワー

430N・m/1,900–5,000rpmの最大トルクが優れた加速と俊敏性を提供します。GTSモデルのPDKとスポーツクロノパッケージ仕様車の0–100km/h加速タイムは4.1秒、最高速度は290km/hに達します。

GTS特別仕様：インテリアとエクステリアの多数のブラックエレメント

GTSモデルは、テクノロジーだけでなく視覚面でも718モデルラインの中で特に際立ちます。フロントの新しいスポーツデザインエプロンは、モデルのスポーティな特徴を強調します。フロントライトモジュールとバイキセノンヘッドライトはGTSモデル特有のブラックに着色されます。リアのティンテッドテールライト、ブラックのロゴ、ブラックのリアエプロン、および中央に配置された標準装備のスポーツエグゾーストシステムのブラックのテールパイプは、GTSにユニークな外見を付け加えます。ドア下部のブラックのGTSロゴとブラック(サテンフィニッシュ)に塗装された20インチホイールがサイドビューを引き立てます。

高品質のアルカンターラとポルシェ トラックプレジジョンアプリ

インテリアもGTSのDNAによって形成されています。スポーツクロノパッケージ(標準装備)のストップウォッチがダッシュボードの中央コンポーネントに統合され、運転席と助手席は、他のポルシェGTSモデルと同様にセンタートリムにアルカンターラを使用したスポーツシートが標準装備されます。ヘッドレ

ストにGTSロゴを冠したスポーツシートプラスは、2 wayの電動調節機能を備え、サイドサポートと快適性が強化されています。ステアリングホイールトリム、センターコンソール、およびアームレストなど、インテリアにはアルカンターラが多用されています。特にスポーツ志向のドライバーは、ポルシェトラックプレジジョンアプリ(PTPA)によって、スマートフォン上でのドライビングデータの自動記録、表示、および分析が可能です。

911ファミリーに純粹主義を象徴するニューモデルを追加

シンプルでも高い性能 - ニューポルシェ911カレラ T

ポルシェは、911カレラ Tによって、1968年にデビューした911 Tの根底にあった純粹なスポーツカーファン向けのコンセプト、つまり、軽量、クロスレシオのマニュアルトランスミッション、パフォーマンス向上のための機械式ディファレンシャルロックを装備した後輪駆動、それらによってさらに強烈なドライビングプレジャーを復活させます。このニューモデルのユニークな外観は911カレラを基本とし、エンジンは272kW(370PS)を発生します。ツーリングを意味する「T」を冠した911カレラTには、車高を20mm低くした標準装備のPASMスポーツシャシー、重量最適化されたスポーツクロノパッケージ、レッドのシフトパターンと短縮されたシフトレバー、Sport-Texシートセンターなど、911カレラにはないいくつかの装備が与えられています。911カレラでは選択できないリアアクスルステアリングもオプションで装備可能です。

911カレラ Tの装備は、あらゆる面で最適なスポーツ性と軽量構造を実現するために設計されています。リアウインドウとリアサイドウインドウは軽量ガラス製で、ドアトリムにはドアオープナーストラップを採用しています。吸音材を大幅に削減し、リアシートはオプション装備となり、さらにはポルシェコミュニケーションマネージメント(PCM)なしのオプションも用意されています。その結果、この2シーターの空車重量は1,425kgとなり、同等の装備の911カレラより20kg軽量です。

スポーティなデザインとユニークな外観

911カレラ Tのデザインは、トランスミッションをリアに搭載したクーペのエモーショナルでスポーティな性格を強調するものです。このモデルは、ボディパーツとホイールで明確に差別化されます。911カレラ Tのフロントには、空力的に最適化されたフロントスポイラーリップが装備され、スポーツデザインのドアミラーはアゲートグレーメタリックに塗装されます。また、このニューモデルはチタングレー塗装の20インチ カレラ Sホイールを装備し、サイドからも一目瞭然です。さらに“911 Carrera T”のロゴもサイドの大きな特徴です。リアビューでは、リアリッドグリルのスラット、Porscheのロゴ、アゲートグレーの“911 Carrera T”のモデル名、およびセンター出しのテールパイプがブラック塗装された標準装備のスポーツエグゾーストシステムが特徴です。ボディカラーのオプションとして、キャララホワイト、ジェットブラックおよびGTシルバーのメタリックカラーに加え、ブラック、ラバオレンジ、ガーズレッド、レーシングイエロー、ホワイトおよびマイアミブルーが用意されています。

純粹主義のインテリアコンセプトと新たなインテリアパッケージ

パッセンジャーコンパートメントの外観も、スポーティかつ純粹主義が強調されています。運転席にはシートセンターをSport-TEXファブリックとしたブラックの4-way電動スポーツシートが採用され、ヘッドレストには“911”ロゴがブラックで刺繍されています。このニューカレラTモデルでは、初めてオプションでフルバケットシートを選択することもできます。ステアリングホイールは、レザーリムのGTスポーツステアリングホイールで、標準装備されたモードスイッチを使って、さまざまなドライビングプログラムを選択できます。レッドのシフトパターンとショート化されたシフトレバーは911カレラ T専用です。ダッシュボードとドアのデコラティブトリム、およびドアオープナーストラップはブラック仕上げです。新たに追加されたTインテリアパッケージは、レーシングイエロー、ガーズレッドまたはGTシルバーのコントラストカラーで、さらにスポーティなルックスを創り出します。これらのカラーを使って、シートベルト、ヘッドレストの“911”ロゴ、ドアオープンループやSport-TEXのシートセンターなど、さまざまなインテリアコンポーネントにアクセントを付けることができます。

パワーウエイトレシオの向上とパフォーマンスの強化

3リッター6気筒水平対向ツインターボエンジンは、最高出力272kW(370PS)、最大トルクは1,750rpm~5,000rpmの間で450N・mを発生します。パワーウエイトレシオは3.85kg/PSに向上し、パフォーマンスの強化およびさらに俊敏なドライビングダイナミクスを実現しています。クロスレシオのマニュアルトランスミッションと機械式リアディファレンシャルロックにより、911カレラ Tは4.5秒で0-100 km/hに達します。これは、911カレラ クーペより0.1秒速いタイムです。このモデルは、200km/hまで15.1秒で達します。また、カレラ Tにはポルシェ ドッペルクップリング(PDK)も装備可能です。この場合、0-100km/h加速が4.2秒、0-200km/h加速が14.5秒となります。いずれのトランスミッションのタイプでも、最高速度は290km/hを超えます。

新型エンジン、新型シャシー、革新的なコントロールコンセプト、そしてさらなるコネクティビティ

ニューポルシェ カイエ

3代目カイエンは、全面的に新開発され、さらにすぐれたポルシェ特有の性能と抜群の実用性を兼ね備えます。パワフルなターボエンジン、新しい8速ティプトロニックSトランスミッション、新しいシャシーシステム、そして総合的なコネクティビティを備えた革新的なディスプレイとコントロールコンセプトがスポーツ性と快適性を次の段階に進めます。

ダイナミックなデザインランゲージ： さらに引き締まったデザインと大型ホイール

新しく、しかも親しみのある明快なデザインを備えたスポーティで精密なカイエンの外見は、ポルシェ デザインのDNAを受け継ぐスタイルを維持しながら強化されています。フロントの大型化されたエアインテークは、向上した性能を明確に示します。新しい水平のライトエッジによって、停車中もワイドかつスポーティに見えます。エクステリアを63mm伸ばし、車高を先代より9mm下げることによって、カイエンのエレガントな流線形の印象を強調しています。ラゲッジコンパートメントの容量は、先代を100リッター上回る770リッターです。

911に続く：ミックスタイヤを装着した軽量シャシー

ニューカイエンは、スポーツカー、オフローダー、ツーリングカーという3つのシャシーコンセプトを1つのデザインに結合します。また、初めてカイエンにエレクトリック リア アクスル ステアリングが装備されます。新しい3チャンバーテクノロジーを備えたオプションのアダプティブエアサスペンションも、スポーツ性の高い堅固なロードホールディングとサルーンカーに期待される走行快適性を大幅に改善します。システムは先代同様に起伏の多い地形で地上高を調節することができます。ロールを安定化させるオプションのポルシェ ダイナミックシャシー コントロールシステム (PDCC) を装備すると、スポーツ志向のドライバーは、油圧システムからエレクトリックシステムへの切り替えによる恩恵を受けます。

革新的なポルシェ サーフェス コーテッド ブレーキ (PSCB) によって、ポルシェは再び高性能ブレーキの開発において先駆的役割を担います。カイエン全モデルにオプション装備 (カイエン ターボには標準装備) される世界初のブレーキは、タングステンカーバイドでコーティングされた鋳鉄製ディスクを備えます。この仕上げは摩擦値を高めて磨耗とブレーキダストを低減します。

デジタルの進化とアシストシステム

カイエンは、この新世代によってドライバーと車両の関係に新しい1章を設けます。ポルシェ アドバンストコックピットは、スポーティで贅沢な雰囲気完璧に溶け込みます。。ポルシェによる新しいディスプレイとコントロールコンセプトの中心部は、最新世代ポルシェ コミュニケーションマネージメントシステム (PCM) の12.3インチフルHDタッチスクリーンです。各デジタル機能はボイスコントロールなどで直感的に操作することができます。標準装備のポルシェ コネクトプラスを使用してオンラインサービスとインターネットにアクセスすることも可能です。そこにはリアルタイム交通情報表示を備えた標準装備のオンラインナビゲーションも含まれます。熱探知カメラを備えたナイトアシストは、レーンチェンジアシスト、レーンキープアシスト、トラフィックジャムアシスト、サラウンドビューを含むパークアシスト、アダプティブクルーズコントロールに加えて最も重要なアシストシステムのひとつです。